

米国北西部 サクランボの収穫は予想を上回る

[FreshPlaza 2024年9月16日](#)

北西部サクランボ生産者協会は、困難はあったがサクランボの収穫は良好だったと見ている

北西部サクランボ生産者協会のB. J. サービー会長は6月に、再び残念な収穫シーズンとなる可能性について懸念を表明していた。しかし、作物の一部に悪影響を及ぼした1週間の猛暑を除いて、そうした懸念は大幅に軽減された。サービー氏は、「需要が大変強く、収穫量もすばらしかった」と述べた。

同協会は、ワシントン州、オレゴン州、アイダホ州、ユタ州、モンタナ州のサクランボ生産者を代表する組織で、ワシントン州が収穫量の大部分を占めている。今年、北西部では1,920万箱(20ポンド(約9.1kg)/箱)のサクランボが産出され、そのうち1,770万箱はワシントン州から出荷された。この収穫量はサービー氏の当初の予測を上回り、この地域の良い年の水準に値するものであった。

サービー氏は、「最も良かったことは、全体的な需要が最初から最後まで供給を上回ったことである」と述べ、この需要の多くが果実のサイズと品質によるものだとし、「今年の果実は本当に良かった」と付け加え、果実の並外れた品質について生産者達を称賛した。

北西部では2023年にサクランボの生産量が大幅に回復し、2022年の1,330万箱に対して合計1,870万箱が収穫された。ナイト果樹園のオーナーであるケビン・ナイト氏は、過度の暑さにより米国農務省がワシントン州の11の郡について災害宣言を出したり、収穫が遅れたカリフォルニア州産との競合があった過去2年間に比べて良くなったと振り返る。

ナイト氏によると、7月の熱波の後、廃棄率が通常の2倍の約30%に上昇したものの、サクランボの収穫は7月29日に好調のうちに終了した。同氏は最後に、「全体として、不満は何もない。私にとってはかなり良い年であった」と述べた。

出典: [The Seattle Times](#)

ブラジル オレンジ主産地は収穫量減少の予測

[FreshPlaza 2024年9月17日](#)

サンパウロ州の大部分で9月上旬に高温を記録した。このシナリオは、今年も深刻な熱波に直面する可能性がある柑橘類生産者に懸念をもたらした。気象予報会社のクリマテンポ社は、9月の熱波はブラジルのほとんどの地域でより一般的になってきており、より激しく、より長く続くようになっているとしている。

柑橘類生産防衛財団(Fundecitrus)が9月10日に発表したデータによると、サンパウロ州とトリアングロミネイロ地域(ミナスジェライス州北西部の三角地帯)では、2024/25年度のオレンジ出荷シーズンに、2億1,578万箱(40.8kg/箱)が収穫されるものと見られる。これは、以前の生産量(平均生産量)よりも30%少なく、今年度の当初予測である2億3,238万箱を下回る。

この減少は、乾燥して暖かい天候による果実の小玉化に関連している。天候はまた、成熟に影響を与え、収穫のペースを加速させた。この乾燥した天候のシナリオでは、9月下旬まで雨が降らないと予測されているため、この期間に果実の半分以上を収穫することができる。

サンパウロ州の南西部を除き、柑橘類主産地のほぼすべての地域で降雨量が少なかった。Fundecitrusによると、今シーズンの生産量が増加すると予想されるのはサンパウロ州の南西部のみで、そこでは2023/24年度よりも19%増加する可能性がある。他の地域では、生産量が28%~60%減少する可能性がある。